

第2回胎内市立中学校再編検討委員会 会議録

1 開催日時 令和5年12月20日（水） 午後2時から午後3時30分

2 開催場所 ふれすぽ胎内 多目的室

3 議 題 胎内市立中学校の再編等についての情報交換

4 公開・非公開の区分 公開

5 出席者

委員 長	近 孝道
副委員 長	塚野 陽介
委 員	丹後 直子
委 員	久保 俊幸
委 員	佐藤 光
委 員	富樫 新一
委 員	河内 理助
委 員	今井 和彦
委 員	齋藤 聡
委 員	久世 俊介
委 員	西村 礼子
委 員	上山 夏奈
委 員	菅原 美穂
委 員	佐久間 竜太
委 員	中村 彩

教育長	中澤 毅
管理指導主事	池田 裕之
指導主事	山沢 正仁
指導主事	中村 祐一
学校教育係長	横内 和幸
庶務係主任	菅澤 真人

6 会議資料の名称

資料 1

7 傍聴人の数 2人

8 会議の概要

(1) 開会

○ 委員長 (近)

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

これより、第2回胎内市立中学校再編検討委員会を開催します。

開会に先立ち、委員会条例第6条2項の規定により、本日の出席者が過半数を超えておりますので、会議が成立したことをご報告申し上げます。

なお、本日は濱中委員、松原委員、山田委員、佐藤委員は、都合により欠席となります。

前回の委員会では、中条中学校を除く3つの中学校での生徒数の著しい減少により、「統合やむなし」というご意見がほとんどでした。グループ協議の中では、それぞれのお立場から貴重なご意見をいただき、参考になる部分がたくさんありました。

そこで、本日の第2回目の委員会では、前回出た課題として中学校の設置場所や通学方法などについて、そのメリットや課題について協議していただきたく思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

はじめに前回の委員会の議事録と本委員会の資料の確認を行います。

それでは事務局、よろしく願いします。

○ 事務局

始めに前回の議事録の確認についてです。第1回の議事録については、本日の第2回検討委員会の開催案内と一緒に委員の皆様へ送付し、ご確認いただいているところですが、簡単に説明させていただきます。

前回の検討委員会では、事務局から胎内市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会の答申内容と今後の方針についての説明の後、3つのグループに分かれ情報交換を行いました。

情報交換では、将来的な生徒数の減少による教育環境、教育活動などへの影響、例えばクラス替えができず社会性の育成に制約が生じることや学校行事や部活動にも制約が生じてしまうことなどを考えると各グループで統合には賛成であるということでした。ただ、立地場所、通学時間、スクールバスの運行

方法や地域との繋がりが希薄化してしまう恐れがあること、そして、教職員が減少することで生徒へのきめ細やかな指導・支援が継続できなくなるのではないかなどの課題・不安があり、これらについて十分な配慮をしながら検討を進めなければならないという内容となりました。簡単ではありますが以上が前回のまとめとなります。

次に本日の資料を確認いたします。本日の資料は全部で3枚配付しております、1枚目は、本日の次第、2枚目は「第2回胎内市立中学校再編検討委員会グループ協議～胎内市の中学生にとって望ましい教育環境を考える～」と書いてありますA4横の用紙のものです。3枚目は本日の座席表です。資料に不備などがある方はお声がけください。

皆様、よろしいでしょうか。

事務局からは以上となります。

○ 委員長（近）

ありがとうございました。

次のグループ協議に入る前に、「テーマ」や「進め方」について、担当の山沢指導主事から説明してもらいます。よろしくお祈いします。

○ 指導主事（山沢）

お手元の資料の中に「第2回胎内市立中学校再編検討委員会グループ協議」というA4両面に印刷したものがございます。こちらが本日の資料、記録用紙となります。テーマは「胎内市の中学生にとって望ましい教育環境を考える」としており、委員会当初より、この一点が中心テーマとなっています。前回のグループ協議でも、どの場所に設置するのが胎内市の中学生にとって望ましい教育環境と言えるのかというところが、話題の中心となっておりました。

本日のグループ協議では、まず、最初にテーマ1として「10年後、中学校はどのような形態で、どのような場所に設置することが望ましいのか」についてお話しください。意見欄が3つありますが、3つに限らず、いくつか出していただき、想定される場所とメリット、課題や不安を出していただきたいと思ます。実現可能かどうかは少し置いておきまして、このような場所にあれば、このようなメリット、課題があるということ、いくつか書き出していきたいと思ます。一番初めに「形態」という欄があります。統合ということが決定しているのではございませんので、この部分からお考えいただければありが

たいと思います。グループ協議で意見を出していただいた後、次に裏面に進みまして、テーマ1で出てきた中から、1つのパターンを決めて、仮にこの場所だということを決めていきいただき、それについて課題等を細かく想定して、その解決策を検討するというところで進めていただきたいと思います。以上です。

○ 委員長（近）

それでは、早速、グループ協議に移りたいと思います。

進行は教育委員会の担当指導主事が行います。始まる前に私の方から、協議の内容についてのお願いがあります。

今回、話し合う内容は、胎内市の中学生にとって望ましい教育環境を中心に話し合っただけであれば、ありがたいと思います。

例えば、中学校新設に伴い、新たに市街地ができ上がった場合の住居や道路の整備に関わることなどのご意見をいただきましたが、本委員会以外での議論になるのではないかとおそれますので、よろしくお願いします。

グループ協議は15時10分までとします。では、よろしくお願いします。

(2) 胎内市立中学校の再編等についての情報交換

グループ協議

【Aグループ 9名（丹後、佐藤、河内、西村、齋藤、塚野、菅原、中村）】

○ 指導主事（山沢）

簡単に自己紹介をしていただいてからから始めたいと思います。

<自己紹介>

○ 指導主事（山沢）

ありがとうございました。

では、早速グループ協議に入ろうと思いますが、お手元にプリントがありますので、思いつくところから結構ですので、例えばどこに建てたら良いとか、これが心配だとかをご記入いただければと思います。

前回、Aグループでは立地場所として等距離のところが良いのではないかという意見が出ていました。それに限らず、前回のグループでの話し合いもあったと思いますし、それぞれ皆さんのお考えもあると思います。先ほども申し上げましたが、統合が決まったわけではありませんので、小中一貫が良いという

ことでしたら、それを検討していただいても良いですし、前回のグループ協議の中ですと、みなさん統合が望ましいのではないかという意見が多かったようなので、統合を中心に考えていただいても構いません。

それでは5分ほど時間をとりますので、プリントへのご記入をお願いします。

<各自記入>

○ 指導主事（山沢）

それでは、そろそろお話し合いを始めようと思いますので、よろしくお願いたします。

皆さんに記入していただいたものをさっと見たところ、形態の欄には統合が多いと思ったのですが、統合以外のパターンを考えられてた方はいらっしゃいますか。

○ 委 員

小中一貫も検討しました。

○ 指導主事（山沢）

ありがとうございます。

それは、最初に統合について話をして、その後に小中一貫についても検討したいと思います。

最初に4校統合ということで検討してみたいと思いますが、場所についてはどこを選ばれましたか。順番にお聞きします。

○ 委 員

現在立地している4校の中間の距離にあたる場所が一番望ましいと思いました。

○ 委 員

ふれすぼ胎内周辺が良いと思いました。

○ 委 員

同じく、ふれすぼ胎内周辺が良いと思いました。

○ 委 員

私は胎内小学校の周辺が良いと思いました。

○ 委 員

ふれすぼ胎内周辺か中条中学校が良いと思いました。中条中学校は校舎の土地の再利用が可能だということで考えて選びました。

○ 委 員

工業団地内が良いと思いました。

○ 委 員

ふれすぼ胎内周辺が良いと思いました。それと並槻から若松町辺りにかけても良いと思いました。

○ 委 員

ふれすぼ胎内周辺が良いと思いました。また、中条中学校と公民館、旧中条体育館の跡地の辺りも良いと思いました。

○ 指導主事（山沢）

一番多かったのが、ふれすぼ胎内周辺なので、まずはふれすぼ胎内周辺について検討したいと思います。その後に、胎内小学校周辺、中条中学校、並槻周辺というところで進め、最後に小中一貫について検討したいと思います。

まずは、ふれすぼ胎内周辺ということで考えたいと思います。ふれすぼ胎内周辺にするメリットについてご意見をいただきたいのですが、4校の間距離と言うとふれすぼ胎内の辺りになるというイメージはありますか。

○ 委 員

ふれすぼ胎内の辺りになるのかなというイメージはあります。

○ 指導主事（山沢）

各中学校からの等距離ということで調べてみたのですが、各中学校から3kmの部分をつ円で囲ってみると、中条中学校、築地中学校、乙中学校の3校が重なる部分が胎内スマートインター辺りになります。黒川中学校は3kmだと他の中学校と重なる部分はありませんでした。5kmとなると、黒川中学校も重なる部分が出てきて、鳥坂大橋やクラレ、並槻の浄水場の辺りになります。あくまで直線距離なので、道のりとなると少し違ってくるかもしれないのですが、ふれすぼ胎内周辺は各中学校から等距離という印象があるのと、不公平感がない場所という印象は与えるのではないかと思います。

では、皆さんからふれすぼ胎内周辺のメリットについてご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 委 員

ふれすぼ胎内や野球場、B&G体育館などがあり、スポーツや部活動をする面では、施設が近くにあり活動がしやすいと思いました。

○ 指導主事（山沢）

中条中学校も柔道や剣道、陸上、バスケットボールなどふれすぼ胎内周辺の施設を利用している部活動があります。

スポーツや部活動をする施設を改めて建てなくてもここが使えるというところはありますし、中条中学校では部活の場所がないということで苦勞をしていますので、子どもたちがいろいろな所へ移動しなくても良くなるというところはメリットになりますが、いかがでしょうか。

○ 委 員

もし道路拡張ができるのであれば、中条体育館の跡地なども利用しながら、現在の中条中学校のところに整備できれば良いかなと思いましたが、道路拡張ができないという考えがあったので、駐車場も広いし、ふれすぼ胎内辺りがいいのかなと思いました。

○ 指導主事（山沢）

道路も広いし、駐車場も確保できそうだということですね。他にはございませんでしょうか。

○ 委 員

ふれすぼ胎内周辺ということでしたら、周りからも割と均等な位置にありますし、道路が比較的広いので各地区からバスが来やすいと思います。また、大雪になった時など保護者の方がやむを得ず車で送迎する際も道路の観点からふれすぼ胎内が良いと思います。

○ 指導主事（山沢）

バス通学で極端に時間が掛かる地域がなくなるということと言えますね。他にはございませんでしょうか。

○ 委 員

真ん中で平等で良いと思うのですが、平等だからこそ中途半端になるのではないかとも思っていて、どこまでがバスの対象になるのかと思います。旧本条小の学区の子どもたちは良いと思いますが、中条小の学区の子どもたちを考えると星の宮やつつじが丘もあるので、バス通学が基本になっていくと思うんですが、バス通学は子どもからすると時間の制限による使いづらさもあって、平等だけれどみんなにとって自由さも欠けてしまい、そこがネックになるのではないかと思いました。

○ 指導主事（山沢）

極端な話、中条中学校につくれば、中条中学校の近くの子は歩いてでも来れますからね。

○ 委員

公平という視点でみるとふれすぼ胎内周辺が良いのではないかと思います。生徒の数は中条中学校周辺が一番多いと思うので、より多くの生徒の使いやすさという視点で考えると今の中条中学校の場所が良いと思いました。

○ 指導主事（山沢）

要するに現中条中学校周辺の多くの生徒たちが不便になるという可能性があるわけですよ。

ふれすぼ胎内周辺の良いところ、魅力的なところがありますか。

○ 委員

部活動を考えると、体育館が使えるから良いかなと思います。

○ 委員

ふれすぼ胎内周辺は、場所としては良いと思うんですが、黒川地区からの視点でみると、公共施設が遠くなってしまうということが何かあった時にどうしたら良いのかなというのが心配です。

○ 指導主事（山沢）

ふれすぼ胎内から何kmで何分かかるのかというのを要所要所で調べてみたのですが、黒川地区は6km超あり車で15分から30分超、一番遠い鯉江が16.6kmあり車で34分、反対に近い所は胎内小学校が2.5km。現在の小学校のスクールバス運行の目安が2.5kmなので、ふれすぼ胎内から胎内小くらいまでのエリアの方しか、歩いて登校するには適していないということになります。

中学校の自転車通学の目安は6km、1時間以内です。ふれすぼ胎内から中条インターまで行くと6.6km、乙地区ですと桃崎浜が9.6km、築地地区ですとゴルフ場まで行くと8.7km、黒川地区はほぼ全ての地域で6kmを超えて自転車通学の範囲を超える。中条中学校の辺りからだ、黒川小学校まで自転車通学の範囲内となります。

今の話は課題とか不安ということになると思いますが、生徒目線で見るときに通学はバスが良いのか自転車が良いのか歩きが良いのか、冬はどうなるのかというところは詰めていかないといけない課題になります。

次の方、メリットについていかがでしょうか。

○ 委員

メリットについては、皆さんの意見と同様です。

○ 指導主事（山沢）

ふれすぼ胎内周辺ということで考えると、各中学校から等距離であること、部活動の面、道路や駐車場などがメリットであるということですね。

反対に課題とか不安ということになると、生徒目線で見るときに中間点ということが逆にみんなにとって不便になることが考えられるということですね。それから、黒川地区からの距離と黒川地区に公共施設がなくなっていくということですね。

他に何か課題はありますか。

○ 委員

ふれすぼ胎内周辺に民家が全然なくて、子どもたちにこの辺りを歩かせるのは安全面で不安ですし、工業団地の中なのでトラックが多く自転車も危ないと思います。

近くの家の子も含めて年間を通して全員バス通学にした方が良くと思います。

○ 指導主事（山沢）

距離という視点ではなく安全確保のためのバス通学ということですね。

先ほどお話が出ましたが、バスであるが故に時間に縛られる可能性が非常に強いという課題もありましたね。

では、1つ目のふれすぼ胎内周辺という案については一旦ここまでとさせていただきます。

次に2つ目の中条中学校の周辺か胎内小学校の周辺と並槻の辺りについて

考えてみたいと思いますが、並槻についてはふれすぼ胎内とほぼ同じような感じになると思いますし、なおかつ、体育館等の施設がないということになると思いますので、まず一旦中条中学校であったらということで考えてみたいと思います。

では皆さん、今度は中条中学校周辺であったらということでご検討いただいでからお話をさせていただこうと思います。

<各自検討>

○ 指導主事（山沢）

それでは、中条中学校周辺のメリットについて、ご意見をお願いしたいと思います。

順番をお願いします。

○ 委 員

民家がたくさんあるので安心、安全面は確保されると思います。

○ 指導主事（山沢）

学校の周りが民家ですよ。特に通学の安全ですね。

○ 委 員

通学の面では民家がたくさんあるので、子どもたちを見てる方もいるので安心できると思います。

○ 委 員

皆さんのお話を聞いてやはり安全面は確保されるのかなと思いました。また、子どもの視点に立つとバスで通うよりも徒歩や自転車の方が地域に触れる機会が多くなるし、日によって帰り道を変えてみたり、違う友達と帰ることもできるから子どもにとっては、その方が良いと思います。

○ 指導主事（山沢）

バスではなく徒歩や自転車で通うことによって、日々の変化を感じたり地域の方と触れ合ったりする機会があるのではないかとということですね。

○ 委 員

中条中学校のメリットですと、胎内小周辺のメリットと共通するところもあ

るのですが、家を建てようと思った際に、駅と学校が近いということがメリットになると思います。現状としては、新潟市が近い、買い物できる場所が多いといった理由から胎内市よりも新発田市や聖籠町に家を建てる人が多いと思います。

現状だと中条中学校周辺は道路が狭いので、駅からも近く、距離的に徒歩や自転車で通うことができる人が多く、バス通学のことを考慮しても胎内小学校周辺が良いのではないかと思います。

また、ハザードマップを見ても中条中学校の辺りは水害に強そうですが、反対にふれすぼ胎内の辺りは水害にあまり強くない。胎内小学校は水害に強そうな場所なので立地としては良いと思います。

○ 指導主事（山沢）

家を建てようと思った際に、立地的に駅と学校が近いということが、近隣市町村ではなくて胎内市に家を建てることに繋がるのではないかとということ。そして立地的に水害にも強いのではないかとということですね。

○ 委員

生徒が一番多いのが中条中学校なので、多くの生徒にとって近い場所に中学校があるということが良い点だと思います。その生徒たちが動くとなると大移動になってしまい大変だと思います。

○ 委員

中条中学校周辺に建てたとして、中学校から部活動の活動場所への移動の際に、自転車通学の生徒は問題ないが、バス通学の生徒はどうやって移動するのかという問題が出てくるのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

例えば、大長谷の子が部活動でふれすぼ胎内まで移動するとなると、現状で言えば中学校まで自転車通学をしないといけなくなりますよね。

○ 委員

旧中条体育館の土地、現在の中条中学校の土地、公民館の土地を一体的に整備することができれば敷地も確保できて良いのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

今ある土地が活用できるということですね。

公民館も建ててから年数が経っていますし、図書館も古くなっているの
で、同じ敷地内ではなくても文教施設のようなものが近くにあると中学校と
連携ができて良いかもしれませんね。

皆さんのご意見を聞くと、中条中学校周辺にした場合の課題としては、バ
スが通るための周辺道路の整備や保護者が送迎する際の駐車場の確保ができ
るのかということになりそうですね。

○ 委 員

学校の建物の大きさとしては、今の中条中学校の大きさで市内全中学校の
生徒が入るので、旧中条体育館、公民館の土地も一体的に整備できるのであ
れば、学校に隣接する道路の拡幅や駐車場の確保はできると思いますが、周
辺に住宅もあるので学校まで来る道路の拡幅が難しいのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

道路と駐車場は大きな課題ですね。それ以外になにか課題はありますか。

私が気になったのは、中条中学校周辺の生徒は歩いてこれるし、地域の方
との触れ合いもたくさんあると思ったのですが、中条地区以外の地区からど
のような反応があるのかなというところが気になりました。

残り時間が少なくなってきましたので、最後に小中一貫について検討して
みたいと思います。

小中一貫になると、場所として小学校に入ることになるのではないかと思
います。

中学校はどの学校も建設から 40 年から 50 年が経っています。小学校は古
くても 30 年程度になりますので、場所としては現在の小学校になるではない
かと思いますが、中条中学校区は中条小学校、胎内小学校、中条中学校の 3
校の子どもたちが入るとするのは規模的に難しいと思いますので、中条地区
は現状維持のまま、乙、築地、黒川の 3 校が小中一貫になるという想定にな
るのではないかと思います。

小中一貫で検討していただいていたのですが、メリットはどんなことが思い
つきましたか。

○ 委 員

小学校や保育園の保護者の方に聞くと、運動会などの行事が小学校だと半
日、中学校だと 1 時間や 2 時間で終わります。小中一貫になったら小中合同
で運動会などもできるのではないかという保護者の方もいますし、中学校を

統合するよりも小中を一緒にした方が保護者も楽なのではないかと思いました。

地域のつながりも残るし、登下校のバスも今とあまり変わらないので良いのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

朝は小学生と中学生が同じバスに乗ることができるようになりそうですね。帰りは時間が違うので一緒のバスには乗れませんが、市全体としてバスの本数を減らすことができそうですね。

課題としては小中のスケジュールの違いというところがあげられそうですね。

○ 委員

小中合わせても児童生徒数が増えるわけではないので、小学校も中学校も複式学級になる可能性があります。

○ 指導主事（山沢）

学年の人数が変わるわけではないので、複式学級になる可能性はあります。ただ、9年間通した活動は非常に大事だと思いますので、小中連携という視点は大事だと思います。

では、時間の関係もあるので次に移りたいと思います。

次は、課題の解消をするために何をしたら良いかということについて考えてみたいと思います。

Bグループがふれすぽ周辺ということで進めているようですので、私たちは別の視点で、4校統合で中条中学校を建て替えるということで進めてみようと思います。

立地場所を中条中学校とした場合の課題は、1つ目が道路と駐車場、2つ目が中条地区以外の地域とのつながりや公平感の確保、3つ目が通学方法ですね。

今年度から中条中学校は自転車通学が許可制になりました。これまでは地域によって徒歩か自転車か決まっていたのですが、今年度からは学校と家が近い生徒も要件を満たせば自転車通学が可能となりました。その通学方法が他の地区と比較してどうなのかということもあると思います。

少しご検討いただいて、それからご意見を頂きたいと思います。

<各自検討・シート記入>

○ 指導主事（山沢）

それでは時間も少なくなってきましたので、ご意見がある方はどんどん発言していただきたいと思います。

まず道路や駐車場に関して、バス通学ということが考えられると思いますが、中条中学校までどのようにバスで来るのかということについて、何かご意見はありますでしょうか。

○ 委 員

中条グランドホテル側からアクセスしやすいようにした方が良いと思います。道路を拡幅したり、入口を移動したり、グラウンドの位置を移動したりして、中条グランドホテル側にバスや車を停めることができるような配置にするのが良いと思います。

○ 指導主事（山沢）

そちら側からの方がバスの入れる可能性はありそうですね。

○ 委 員

確かにグラウンドをバスステーションにすれば、道路を拡幅する箇所は少なくて済みそうですね。私は、郵便局のところから入ってこれると良いのではないかと思いました。

○ 指導主事（山沢）

可能性としては、線路側から入るか、郵便局側から入るかですかね。あとは、少し離れたところ、例えば市役所にバスを停めてそこから歩いてくるという方法もあるかもしれませんね。

○ 委 員

大雪や大雨の際、バスだけでなく車の送り迎えを考えると、やはり市役所だけの利用だと難しいと思うので、中学校の敷地内にバスが置けるような広い駐車場があった方が良いと思います。

それと、踏切が狭いのでバスが通れるように広げることができると良いと思います。

○ 委 員

踏切を渡るのは厳しいのではないのでしょうか。

跨線橋から来る方が良いかと思います。

○ 委 員

跨線橋から来るのであれば、郵便局側の道路を拡幅するということになると思います。

○ 指導主事（山沢）

今のお話ですと、郵便局側の道路を拡幅するのが一番望ましいということですね。

あとは災害時などを考えると広い駐車場が必要になるということですね。では、次に中条地区以外の地区とのつながりとそれらの地区への配慮という面での対応や解決策についてはいかがでしょうか。

○ 委 員

つながりということと言いますと、現在中条中学校では、学習活動であれば鼓岡地区や大長谷地区、乙のまんじゅう屋さんへ行ったりしているので、中条地区だけでなく胎内市全域で学習活動を行っています。登下校時の触れ合いということですと、ほとんどない状況です。

○ 指導主事（山沢）

学校が外に出ていく活動はあると思うんですが、普段からの触れ合い、例えばバスに地域の人も乗ってもらうとか、コミュニティバスのようにしてバスの中を地域の方との触れ合いの場にするとか、そういった方法もあるのではないかと思います。

そのような形で中条地区以外の地区の不公平感を無くしていくということは必要ではないかと思います。

○ 委 員

ふれすば胎内周辺でも胎内小学校周辺でも中条中学校でも、中条地区以外の地区からは遠くなってしまい、やはり不満などは出てくると思うので、説明会を数多く行うことが大事ではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

説明会で理解を得るということですね。

最後に通学方法ですが、やはり自転車は許可制ということで良いでしょうか。何km以上は必ずバス通学ということにしてしまうと、部活動の活動場所への移動ができない生徒が出てきてしまう可能性があると思います。

○ 委員

例えば通学はバスにして、使わなくなった自転車を中学校が譲り受けるなどして、施設への移動用の自転車を準備しておくという方法もあるのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

レンタル自転車のような形で移動用の自転車を確保しておくことですね。あとは、部活動の場所へバス移動という方法もあるかもしれません。

○ 委員

体育館が2つあれば、ある程度移動しなくても良くなると思います。

○ 指導主事（山沢）

体育館を増やすということですね。

部活動の移動にバスを出すことについて、現在は、4つの中学校があっても使える学校と使えない学校があると公平性に欠くのである程度我慢をしてもらっているのですが、統合となれば学校間の公平性という視点はなくなりますので、現状よりも部活のためのバス利用というのは理由になるのではないかと思います。

○ 委員

黒川地区の山手の方は距離的に通年バス通学になると思います。部活動の活動場所が中条中学校であれば良いのですが、種目によって違うということになると移動の問題が出てくると思うので、その辺りが心配ですね。

○ 委員

立地について、胎内小学校の横が良いという意見を出さしてもらいましたが、道路という視点で考えると、中条中学校より胎内小学校の方が良いと思うのと、ぶれすぼ胎内や陸上競技場までの距離が割と近いと思うので、部活動の移動を考えても胎内小学校の横が良いのではないかと思います。

○ 指導主事（山沢）

非常に良いアイデアをたくさんいただきましたし、様々な視点でご意見をいただきましたので、大変有意義だったと思います。

時間がきましたのでここでグループ協議を終わらせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

【Bグループ 7名（久保、富樫、今井、久世、近、上山、佐久間）】

○ 指導主事（中村）

簡単にお名前等自己紹介をお願いします。

<自己紹介>

○ 指導主事（中村）

先程の説明の中であったように、この前の話の中では統合ありきの話がありましたが、この資料の中にありますように、生徒の減少が10年後非常に著しくなり、中条中以外が50人を切る状況になっています。ましてや、例年学区外就学で出ていく数も多いので統合が現実的ではないかとあったのですが、この辺を踏まえていかがでしょうか。

○ 委 員

前回の協議録を見ると、3グループとも統合に賛成という意見でした。その考え方そのものが、子どもたちのことを第一に考えることは大切なことなのですけれど、地域にそのような組織がなくなることによって、だんだん過疎が進んでいく気がすると思っています。それは学校施設だけではなく、他の施設管理の関係も絡んでくると思います。

私は前回欠席だったのですが、議事録を見て3つの方法以外になかったのかと思いました。たまたま新聞記事で山形県の事例を見ました。3つの方法以外にも、こういった事例も検討委員会で検討したら良いのではないかと思います。私は山手の方ですので、統合は仕方ないと思っており反対ではないのですが、過疎化を防ぐことについても考えなければならぬと思っています。

○ 指導主事（中村）

今、委員の方から話がありましたが、岐阜、山形県などで授業を合同で行うという事例のようですね。答申の中では、小中一貫校として地域に学校に残るという1つのパターンがあります。児童生徒数は同数が変わりませんので現実

的ではないのではないかということになりました。このことについて、前回出席していただいた方から何かございませんか。

○ 委 員

前回の会議の中では、スポーツというのが1つの柱なんですが、現状やはり山手の学校は部活がなくなってきてるといことで、中条中学校に行っている子が多いのもありますし、中学校から村上市や他所の市へ行ってしまうのが現状です。原因は何なのかというと、1つはスポーツ部活動もあり、あとは人数の多い学校へ行かせようという親の考え方や、様々な原因があります。統合すれば生徒数も増え、部活動や色々な活動もできるようになるのではないかと思います。委員のおっしゃるとおり過疎化が課題なのですが、子どもの通学が全く見られない状況になっている。小学校、中学校の生徒が朝夕、集落にいなくなるというのは、非常に寂しいことであるが、実際に今の保護者の方はどう考えているのかを考えれば、子どもの成長を考えると統合した方が、一番教育上良いのではないかと思います。

○ 指導主事（中村）

学校が地域からなくなることは、現実的に考えていかなければならないことですね。ただ、今回は、統合に決まったわけではありませんが、統合した場合にはこんな問題があるということで話を進めていただいて、例えば黒川中学校の再利用の仕方とか、地域のコミュニティとして活用するのかなどについては、今後の課題として考えていきたいと思います。

今日の2回目の課題としては、前回、統合の意見が多かったので皆さんの知恵をお借りして進めさせていただきたいと思います。

最初に統合した場合について、どのような場所が良いかなど、まとめていただき、5分後に意見をお聞きしたいと思います。

ただ、統合に限らず小中一貫校というパターンを想定して記入していただいても構いません。それでは、お願いいたします。

<各自検討・シート記入>

○ 指導主事（中村）

それでは、順番にお願いします。

○ 委 員

場所は、ふれすぽ胎内周辺。メリットは周辺に体育施設や給食センターや適

応指導教室など、学校にかかわる機能が周辺にたくさんありますので、そこを有効活用できるかなと思います。

○ 指導主事（中村）

ここだと既存の施設が活用できるのではないかと言うことですね。

○ 委員

第一選択はふれすぼ胎内が良いのではないかと思います。先ほども出ましたが、スポーツ施設が整っていたりするので。ハザードマップはまだ確認していないので、はっきりとは言えないですが、津波や大雨の浸水などを考慮して安全が確保できれば良いのではないかと思います。

黒川地区からだとい遠いですよね、築地、乙地区は近いと思うのですけれど。

○ 指導主事（中村）

黒川地区で一番遠いのが鍛江で14kmぐらいあります。中条地区はつつじが丘で6kmぐらい。築地地区の村松浜が10km、意外と乙地区は遠くないようです。黒川地区が一番遠くなってしまいます。通学時間が不安材料でしょうかね。

○ 委員

鍛江の生徒だと相当早い時間に出なければならない。それを解消するためには、途中の立ち寄りを少なくしてバスの本数を増やしてもらうのが良いと思います。

○ 指導主事（中村）

ふれすぼ胎内周辺は地理的には良いようですが、街灯が少ないなど防犯面で心配があるのではないかと思います。このことは、また、後で話をしたいと思います。

○ 委員

私もふれすぼ胎内周辺が良いと思います。スポーツ施設とスマートインターが近いし、山手を除けばアクセスも良い、場所的には安全なのではないかと思います。ただ、工業地帯で住宅街ではないので、その辺がどうなのかなと思います。

○ 指導主事（中村）

工業地帯に学校を建てるという不安ですね。

○ 委 員

もし、統合するのであれば、ふれすぼ胎内周辺が良いと思います。災害に関しては、今の乙中学校に比べたらはるかに耐震に優れた土地にはなっています。工業地帯に関しては、個人的には周りに様々な企業があった方がキャリア教育的な目線で言えば、乙にいるよりは勉強ができるし、良いと思います。

○ 指導主事（中村）

キャリア教育という視点でも良いということですね。

○ 委 員

皆さんと同じ意見で、ふれすぼ胎内周辺だと思っています。10年後統合するとしたら、現在0～2歳の子が対象でその子たちが今現在どこに住んでるかも考えなければならぬと思います。申し訳ないのですが、正直言って山手の方には今現在も少ないと思います。ですので、通学に関してのバス通学範囲は広くならないのではないかと思います。

ふれすぼ胎内を卒業式などの全学年での行事や式典に利用できたら良いと思います。そうすれば、学校の体育館は通常の授業だけにして、そんなに大きな体育館を建てなくても良いのではないかと思います。

○ 指導主事（中村）

中条中学校も昔は、中条体育館や武道場が隣にありました。そういう面で、ふれすぼ胎内が近くにあれば部活の面でも利活用できるのではないかと思います。

○ 委 員

もし、ふれすぼ胎内辺りの場合、工業地帯で爆発等あったら学校にも影響がでると思います。そこも考慮しなければいけないと思いますので、交通の便も併せて考えると、あかね町、胎内小学校辺りが良いのではないかと思います。胎内小学校の近くに建てることで将来的に近隣での宅地の開発が進み、近隣の人口が増えるかもしれない。もう1つの利点として大型バスでのアクセスも良く交通の便が良いと言えます。この点について中条中学校では無理ですよ。防災上のことも考えるとこの辺りの海拔は11mありますので、津波の心配もないだろうと考えられます。

○ 委 員

ふれすぽ胎内周辺と思っていましたが、化学工場があるとそういう心配があります。そのことを考えるとあかね町、胎内小学校辺りが良いと思います。

○ 指導主事（中村）

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

○ 委 員

中心地以外の地区は子どもの数が減っていってしまっていますが、いかに胎内市から他の市へ人口が流失していかないように、子どもが減らないようにする方法を考えていくことが重要だと思います。

○ 指導主事（中村）

それでは、とりあえず、ふれすぽ胎内周辺にするとして課題、解決策を考えていただきたいと思います。

○ 委 員

通学が心配です。工場があると大型トラックなどが通るので事故に巻き込まれないか心配です。

○ 委 員

乙、築地地区の子は自転車で街中に入ってこなければならない。

○ 委 員

乙地区の八幡とかその辺の子が6 km圏内で幅の狭い橋を自転車で渡って車どおりの多いクラレの横を通らなければならない。とても無理ではないかと思います。広い歩道はあるけれど自転車は通れませんよね？

○ 委 員

歩道は許可もらえば自転車で通れるようになります。黒川地区の歩道はそうようになっています。

○ 指導主事（中村）

自転車通学は6 km圏内の問題もありますが。

○ 委員全員

6 km通学は無理です。それは行政の方で距離を考えて変えてもらわないとい

けないと思います。

○ 委 員

ふれすぽ胎内周辺は工場の不安があると絶対ダメです。離れていた方が良く、あえて近づいてはダメです。校長がいらぬ心配を毎日しなければならなくなります。

○ 委 員

今でさえも親が送迎しているのだから、通学距離が長くなれば今よりも保護者の負担が大きくなる。保護者による送迎の出入りが多くなるのであれば場所の確保も必要になってくると思います。

○ 指導主事（中村）

先程話のありました、統合すると地域とつながりが薄くなることへの対策などはありますでしょうか。

○ 委 員

今、コミュニティ・スクールがありますが、統合し市内全域が1つの地区と考えた場合、機能しなくなるのではないかという不安があります。

○ 委 員

築地中学校で行っている海岸清掃、中条中学校で行っている商店街活性化、黒川中学校で行っている村祭り、それを中学生が全部してほしいと言うと、とんでもないことになると思います。どう調整するのだろうと、少し考えてしまいました。

○ 委 員

山手と町場と分けなければいけないと思います。地域との連携は統合しても考えていかなければいけません。

○ 委 員

これは本当に難しい問題であると思います。学校がなくなり、地域の行事がなくなる、子どもたちとのかかわりがなくなる。やめるのは簡単であるけれども、何か対策を考えなければいけないと思います。

○ 委 員

統合した場合、市内全域を対象に生徒を分散させて地域活動を行っていかなければならないと思います。

○ 指導主事（中村）

時間がありませんのでまとめですが、ふれすぼ胎内周辺が良いが、懸念されるのは通学の問題、交通量の不安、近辺工場の不安。地域とのつながりが希薄化しコミュニティ・スクールが機能しなくなるので何か仕掛けが必要ということとなりました。貴重なご意見をありがとうございました。

○ 委員長（近）

それでは、グループ協議を終了させていただきます。各指導主事は、グループで話し合われた内容について、要点を絞って説明してください。Aグループからお願いします。

○ 指導主事（山沢）

Aグループでは、4校統合で場所はふれすぼ胎内周辺という意見が一番多かったので、これについて話し合いをしました。メリットとしては、大まかですが等距離であること、スポーツ施設が近くにあり部活動を集中してできること、道路や駐車場問題も現状一番解決できるのではないかと、バスの通学を考えるとほぼ等距離であるということで通学時間も平等になるということがメリットとしてあがりました。

課題と不安としては、中間であるが故の不便さ、例えば、中条中学校周辺に作れば、人数の多い中条中学校の生徒は徒歩、自転車で通学できるのですが、この場所は、民家が少なく多くの人にとって遠い場所、通学しづらい場所になるのではないかという意見が出ました。黒川地区は遠いのでそこの距離、安全面、雨風強い荒天時の通学への不安、工業団地が近く大型車両が通行すること、民家が少なく交通事故が発生した際に発見が遅くなるのではないかという不安があるという意見がありました。それから、ほとんど全員がバス通学になるとバス時間の制約が生じて部活動など制限が生じてしまうという意見が出ました。

次に、4校統合で中条中学校付近、胎内小学校付近という意見もありましたので、それを含めて検討しました。民家が多いので通学の際の安全、周りの方の目や協力が得られること。主に中条地区の生徒になりますが徒歩、自転車通学時に地域とのふれあい、関わりがあること。また、駅と学校に近いという条件ならば家を建てるのに有利条件となり、人が集まるのではないか。

ハザードマップを確認してくれた方もおり、他の地域に比べ水害の可能性が低く災害への強さもある、中条中学校の生徒が多いので、中条中学校の生徒にとって近い場所であることや既存の校舎、旧中条体育館の敷地を利活用できるのではないかという意見がでました。ただ、課題としては、道路が狭いので、どうやってバスが通れるようにするかというところ、4校統合になると遠い地区から自家用車で送迎する保護者も増えるので広い駐車場が必要なこと、中条中学校の土地に建てることは他の3校がなくなり中条中学校だけが残るというイメージが強くなり、これに対する反応への対応が必要になってくるということでした。

最後、小中一貫というケースも考えました。この場合、2つの小学校と1つの中学校を1つにするのが難しい中条中学校区以外の3地区では校舎を中学校より施設の新しい小学校の校舎を使用することで可能になるのではないかとということになりました。児童生徒数が少なくなっているので小中一緒の行事が自然に行え、9年間同じ場所に通うので保護者、児童生徒は安心して通うことができ、地域とのかかわりもそのまま保つことができる。そして、通学面で考えると、登校時は行先が同じになりますので児童生徒が一緒のバスに乗ることができ、運行本数を減らすことができるということができるかもしれないと考えられます。ただし、課題として小学校と中学校の授業時間が異なるため下校時のバス時間がそろわないこと、また、学年の人数が増えず、同じ人数のまま9年間過ごすことになることが課題です。

4校統合で中条中学校を活用するパターンを想定して話し合いましたが、一番の課題は道路と駐車場の問題です。道路については拡幅しない限り無理であり、どの道路を拡幅するのか、可能か不可能かを考えずに意見を出してもらいました。線路側から中条中学校に入ってくる道をつくるか、郵便局側から中条中学校に入る道路をつくるか。郵便局側に道路がつくれれば、出入りがスムーズになること。そして、現在のグラウンドの部分を駐車場にして、体育館の跡地をグラウンドに変更しなければならないだろうということになりました。

地域とのつながりに関しては、既存の地域とのつながりを維持し、学習面については、それぞれの地域をフィールドにした学習が、現在、中条中で進められていますので、これを基本に胎内市全体をフィールドとした地域学習をする体制は必ず必要だろうということになりました。

スクールバスについて、地域の人でも利用できるよう駅、病院なども経由するようにすれば、バスの中で地域の人との触れ合いができるのではないかという案が出ました。

統合にあたっては、各地域に対してしっかりと説明会をして理解をいただくようにした方が良いという意見も出ました。

最後に通学方法について、現在、中条中学校では自転車通学は許可制です。部活動で自転車での移動が必要になりますが、部活での練習場所への移動時にもバスで輸送、レンタルサイクルを導入して活用する、移動しなくても良いように体育館をもう1つつくれば一番良いのではないかという意見も出ました。建設場所が胎内小学校周辺の場合でも同じようなことが言えます。中条中学校と旧体育館の敷地、今ある土地を利活用できることが非常に大きなメリットになるのではないかということになりました。以上です。

○ 指導主事（中村）

Bグループです。統合ということについて、ふれすぼ胎内と胎内小学校付近ということで話し合いをしました。先ほどもでしたが、メリットとしては、スポーツ施設や給食センター、教育相談センターもあるなど、既存の施設を利用できることです。また、交通の便が良いこと、工場が近くにあることがキャリア教育の面で良いのではないかという意見が出ました。ただ、心配な点については、通学時間が長くなるのではないか、遠い所からであると途中で何か所か寄ることになり、1時間くらいかかるのではないかということ、そして、災害について心配であるという意見も出ました。ふれすぼ周辺よりは、胎内小学校周辺の方が災害に対して安全ではないかということでした。10年後に子どもが多く住んでいる地域も考慮した方が良いのではないかという意見も出ました。それから、工場団地内に学校があるのはどうなのかという意見が出ました。過去に塩素が流れ出たことがあったようなので、災害時のことも考えるとどうなのかという意見が出ました。これらの意見から、ふれすぼ周辺よりも胎内小学校、あかね町付近の方が、交通の利便性も良く、海拔、土地の基盤も問題がなさそうなので、良いのではないかという意見が出ました。

とにかく一番大事なのは、胎内市の子どもたちを減少させないことであり、10年後に新発田市など市外へ流れていかないように未来ある教育環境の整備をしなければならないという意見も出ました。

繰り返しになりますが、ふれすぼ周辺では、通学の事が心配である大型車の交通量が多いところに徒歩や自転車の通学が心配である。6 km以内は自転車通学ということを想定した場合に通学路に不安がある。特に乙地区はふれすぼ胎内に向かう道路が狭く心配であること。その解決策としてバス通学に切り替えた場合、バスの台数を増加しなければならなくなるということでした。そして、保護者送迎も増えますので、渋滞や安全面について、より問題も出てくると思われるという意見も出ました。また、工場の関係についても見逃せないだろうという事になりました。化学工場があつて災害の場合に、どのように対応すれば良いのかということもあり、子どもたちの安心安全を考えた場合、学校を設

置するのはどうなのか、リスクは最小限にしなければならないという意見をいただきました。

そして、地域とのつながりが希薄するという心配では、コミュニティ・スクールを折角ここまで推進してきたが、中学校が1つになったらどうなるのかという心配があるので、行政が仕掛けづくりを行い、地域とのつながりを維持してもらいたいという意見が出ました。学校としては行事や地域学習の広域化を行ってほしいという意見が出ました。以上です。

○ 委員長（近）

どうも、ありがとうございました。

(3) その他

○ 委員長（近）

続いて、次回の検討委員会についての説明を、事務局からお願いします。

○ 事務局

次回、第3回の委員会は、1月下旬を予定しております。日程等が決まりましたら改めてお知らせしますので、どうぞよろしくお願いたします。

○ 委員長（近）

どうもありがとうございました。

(4) 閉会

○ 委員長（近）

では、最後に閉会の挨拶を塚野副委員長よりお願いします。

○ 副委員長（塚野）

皆様、大変お疲れ様でした。本日第2回胎内市中学校再編検討委員会を開催させていただきました。前回に続きまして多くの委員の皆様にお集まりいただきまして心からお礼申し上げます。

今回の検討委員会では、第1回での関心が非常に高かった胎内市の中学生として望ましい教育環境をテーマに設置場所や通学方法など協議いただきました。前回、学識経験者の濱中先生が、どこに学校を造るかというのも大事ですが、けれども、どういう教育理念があって、どういう子どもたちが胎内市から育つ

て世界に羽ばたいて行けるのか、そういう思いで再編の検討を進めていくのが大事というご意見をいただきました。本日の意見交換会では、委員の皆様からのそういう思いが非常に感じられる活発で有益な意見交換がたくさんできたのではないかと思います。皆様に敬意と謝意を表したいと思います。

最後に次回は来年1月下旬に開催予定ですが、インフルエンザやコロナ、そして雪が懸念される時期となりますので、また再びお会いして次回も有意義な意見交換ができるよう祈念いたしまして閉会のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。

○ 委員長（近）

以上で第2回胎内市立中学校再編検討委員会を終了いたします。ご出席いただきました皆様、大変ありがとうございました。